大阪市立大学医学部附属病院

患者総合支援センタ

たより

第4号

令和2年12月

発行部署:患者支援課 車絡先:06-6645-2857

入退院支援センタ 入院される患者さんのために

入院される患者さんに多職種面談をしています。

入退院支援センター設置の目的(2017年4月設置)

- I. 患者・家族が入院後の治療・療養生活のイメージ化を図り、 入院前から安心して医療に参画できるようにする。
- 2. 入院前から入退院支援センターで収集した患者情報を医療者間で共有し スムーズな医療・看護を提供する。
- 3. 患者のリスク評価を行い、入院前から退院後の状況・生活を見据え、 必要な支援を早期開始することによって、患者・家族が安心して 退院後の療養生活へ移行できるようにコーディネートする。



~面談説明内容~

事務 入院前オリエンテーション

薬剤師 服用薬監査

看護師 看護基礎情報聴取・リスクチェック

手術・検査オリエンテーション

ソーシャルワーカー 経済的・社会的問題の相談

管理栄養士 栄養・アレルギー管理

2019年度平均面談人数

30人/日

2020年度平均面談人数

33人/目

※10月以降は1日50人を超える日もあります。

介入件数 6238件 UP 2520件UP 2017年度 2018年度 2019年度

入退院支援センター設置による効果

1.患者サービスの向上

入院前から多職種と面談することによって、入退院に関する不安を軽減 し、治療に専念できる。

2. 医療者の負担軽減

各外来・病棟で行っている入院オリエンテーションや看護情報聴取などの時間が削減でき、業務軽減につながる。

3.在院日数短縮

入院期間の説明等と早期退院支援を実施することによって、 在院日数短縮につなげる。

4.診療報酬取得

入院時支援加算1 230点の取得。